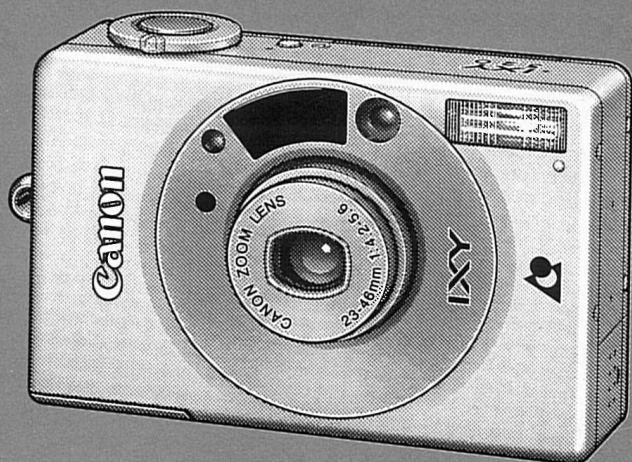


Canon

IXY 320



はじめに

基本編

応用編

資料編


ADVANCED
PHOTO SYSTEM™

J
日本語版

使用説明書

キヤノン製品のお買い上げありがとうございます。
カメラをご使用の前にこの使用説明書をよくお読みになり、
カメラを手に取りながら操作に慣れたうえで、正しくお使い
ください。

目次

●本書の構成

この使用説明書は、はじめに、基本編、応用編、資料編と段階的に分類してあります。初めてカメラをお使いになる方は「はじめに」から順にお読みください。

■本文中のマークについて



撮影に不都合が生じる恐れのある注意事項などが書かれています。



カメラの基本操作に加え知っておいていただきたい事項が書かれています。

はじめに

目次	2
安全上のご注意	4
ストラップ・ケースの付けかた、使いかた	7
Advanced Photo System (APS) の特長	8
APS 早わかり	10
操作早わかり	12
各部の名称	14

基本編

① フィルムを入れる	17
フィルム情報を確認する	18
② 電源を入れる	19
電池をチェックする	19
③ カメラを構える	20
④ プリントタイプを選ぶ	21
⑤ 写したいものの大きさを決める	22
⑥ 撮影する	23
緑ランプ／オレンジランプについて	24

ガラス越しの撮影について	24
近距離撮影について	25
7 フィルムを取り出す	26
現像・プリントに出すには	27
撮影後のカートリッジフィルムの取り扱い等について	27
8 電池を交換する	28

応用編

📷 ストロボモードを変える	29
1 (📷) ストロボオート／赤目緩和なし	30
2 (📷) (📷) ストロボオート／赤目緩和	31
赤目緩和撮影機能について	32
3 (📷) ストロボ ON モード	33
4 (📷) ストロボ OFF モード	34
5 (📷) (📷) (📷) スローシンクロ／赤目緩和	35

フォーカスロック撮影

(写したいものをファインダーの端に置いて撮影する) … 36

🕒 セルフタイマー撮影 … 37

📡 リモコン撮影 … 38

リモコンの電池交換 … 39

📅 日付／時刻を記録する … 40

日付の種類を選ぶ … 41

📅 日付／時刻を設定する … 42

📄 タイトルを記録する … 44

各言語のタイトルを選ぶ … 45

🔄 カートリッジ途中交換機能について … 46

フィルムを撮り終える前に取り出すには … 46

撮影途中のフィルムを入れるには … 47

📄 プリント枚数を指定する … 48

🔧 カスタム機能を設定する … 50

資料編

こんなときは … 52

Q & A … 53

主な仕様 … 54

アフターサービスについて … 裏表紙

安全上のご注意

- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ずお守りください。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容です。必ずお守りください。

その他の絵表示の例 行為を禁止する記号



禁止



接触禁止



分解禁止

○ 記号は、行為を禁止する内容を告げるものです。

○ の中に具体的な禁止内容が書かれています。

警告 (電池について)



このカメラで指定されていない電池は、使用しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。



電池を火の中に入れてたり、分解、加熱、ショートは絶対しないでください。また、水の中に入れてたりしないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。



リチウム電池など充電できない電池を無理に充電しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。



電池を取り外した場合は、お子様の手の届かないところへ置いてください。万一、飲み込んだ場合、電池が壊れて電池の液で胃、腸等が冒される恐れがありますので、ただちに医師と相談してください。

警告（電池について）



万一、カメラ（電池）が熱くなる、煙がでる、焦げ臭い等の異常状態が起こった場合、そのまま使用すると火災、火傷の原因になります。火傷には、十分注意しながら速やかに電池を取り出し、お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。



電池を廃棄する場合は、接点部にテープを貼るなどして絶縁してください。廃却の際、他の金属と混じると、発火、破裂の原因となります。



電池の「+」と「-」の接点を正しく入れてください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。

はじめに

警告（ストロボについて）



車の運転者等にもむけてストロボを発光しないでください。事故の原因となります。



ストロボを人の目に近づけて発光しないでください。目の近くでストロボを発光すると視力障害を起こす危険性があります。特に、乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。



ストロボの発光部分を手で覆ったまま発光しないでください。また、連続発光後、ストロボ部に触らないでください。火傷の原因となります。



警告（その他取り扱いについて）



自分でカメラを分解、改造しないでください。高電圧がかかり感電する原因となることがあります。内部の点検、調整、修理はお買い上げになった販売店、またはキヤノンサービスセンターにご依頼ください。



落下等により、ストロボ部分が破損した際は、内部には触れないでください。さらに、内部が露出した際は、絶対に手を触れないでください。高電圧がかかり感電する原因となります。速やかに、お買い上げになった販売店、またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。



警告（その他取り扱いについて）



カメラで、太陽や強い光源を直接見ないようにしてください。視力障害の原因となります。



カメラは、乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息することがあります。



湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。火災、感電の原因となります。



自動車などの運転中に運転者は、カメラを絶対に操作しないでください。交通事故の原因となります。



注意（その他取り扱いについて）



カメラ（特に金属製のもの）を高温状態の車の中に放置したり、熱いものの近くに置いたりしないでください。カメラ自体が高温になり、触ると火傷の原因となることがあります。



カメラ（特に金属製のもの）を低温状態中に放置したりしないでください。カメラ自体が低温になり、触るとけがの原因となることがあります。



カメラをストラップで下げているときは、他の物に引っ掛かったりしないように注意してください。けがをする原因となることがあります。

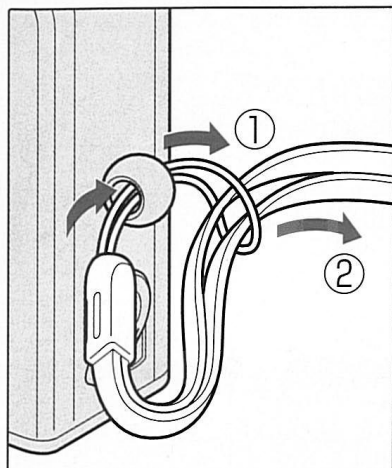


カメラを三脚に取り付けたまま移動しないでください。つけたまま移動するとつまずいたり、ぶついたりしてけがや事故の原因となることがあります。また、三脚はカメラ・レンズに対して十分に強度のあるものをご使用ください。



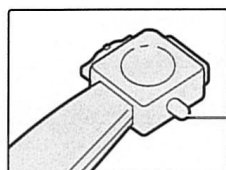
万一、カメラごと水に落としたり、内部に水が入った場合は、電池を抜いて、速やかに、お買い上げになった販売店、またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

ストラップ・ケースの付けかた、使いかた



カメラを落とさないように、付属のストラップをカメラに付けて使用します。

- ①②の順に通します。

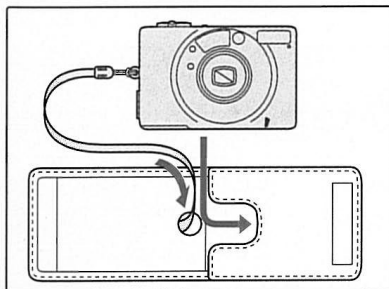


ボタン押し突起



- ボタン押し突起は、**SELECT** ボタン (→ 42, 45, 49, 50)、**SET** ボタン (→ 41, 42, 49, 50)、**Fn** ボタン (→ 26, 46) の操作に使用します。

ケースの使いかた



ケースのカバーを開け、カメラを入れる。

- ケース内側のポケットにリモコンを収納できます。



アドバンスド フォト システム Advanced Photo System

このカメラは Advanced Photo System (以下 APS と呼ぶ) 対応のカメラです。この APS とキヤノンの先進小型化技術により、従来のカメラよりさらに小型の 2 倍ズームカメラを実現させました。

APS のおもな特長をご紹介します。

① 新・フィルム

新フィルム「IX240 カートリッジフィルム」はリーダー部分のない小型「カートリッジ」を使用。これにより今までわずらわしかったフィルムの出し入れが、誰にでも手軽に行えるようになりました。

また、フィルムが未使用 (○)、撮影途中 (D)、撮影済 (☒)、もしくは現像済 (□) かどうか使用状態マーク面の使用状態マークによって見分けることができます。

使用状態マーク



- 未使用
- D 撮影途中
- ☒ 撮影済
- 現像済

② カートリッジ途中交換機能

途中で巻き戻したフィルムを再度カメラにセットすると、自動的に未撮影コマまでフィルムを巻き上げて、そこから続きを撮影することができる機能です。撮影テーマごとや種類、感度の異なった複数のフィルムをいつでも入れ換えて撮影することができます。

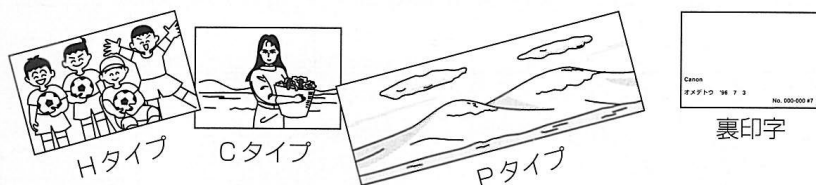
★この機能に対応していないカメラに、撮影途中フィルムを入れると撮影済みフィルムとして認識されます。各カメラの機能をご確認ください。

(APS) の特長

③ 新・プリントタイプ

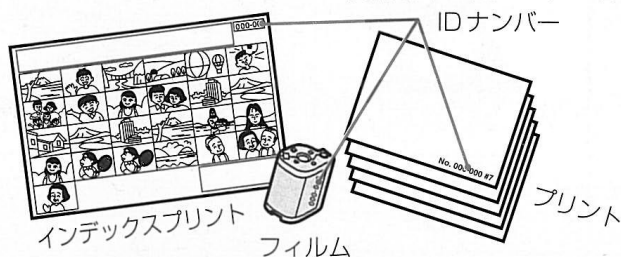
従来のプリントタイプ (Cタイプ) に加え、ワイドなHタイプ、パノラマのPタイプの3種類の撮影が可能になりました。また撮影日時を写真の裏面または両面に、タイトル文字を写真の裏面に印字することができるようになりました。

★文字の大きさ、形状、色、印字位置、両面印字の可否などは、現像店によって変わる場合があります。

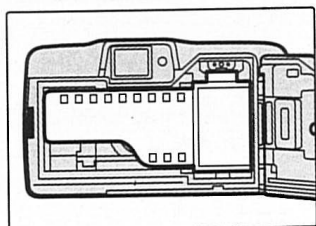


④ 新・写真現像法

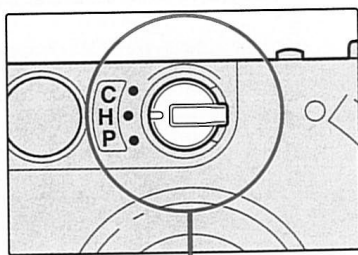
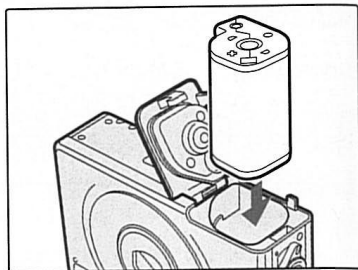
従来の135 (35mm) フィルムは現像すると、フィルムはネガシートに入った状態で返却され、再注文 (焼き増し) をするときは、ネガを光に透かすなどして、1枚1枚の写真を確認していました。しかしAPSでは、認定店へ現像に出せばネガはカートリッジに巻き込まれた状態でインデックスプリントとともに返却されます。従来のような見にくいネガではなく、このインデックスプリント (撮った写真がすべて一覧できるプリント) を見てどれを焼き増しするか選びます。焼き増しをするときは、焼き増しをしたい写真の裏面またはインデックスプリントに書かれているIDナンバーと同じIDナンバーのフィルムを現像店に持っていき、焼き増ししたい写真を番号で指定するシステムです。



APS 早わかり



従来のフィルム



プリントタイプ切り換えレバー



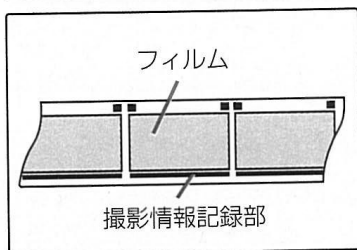
Cタイプ



Hタイプ

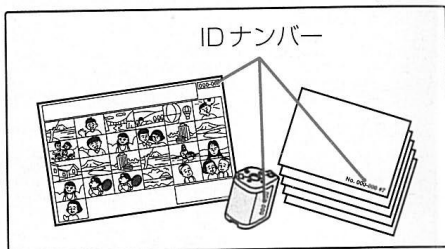


Pタイプ



フィルムに記録される情報例

- ・日付やタイトル
 - ・プリントタイプ
 - ・プリント枚数指定
 - ・ストロボ ON/OFF
 - ・写したときの明るさ
- など



認定店のマーク

詳しくは参照ページ (→ ■) をご覧ください。

1 フィルムの出し入れはワンタッチです。(→17)

- 従来の135(35mm)フィルムのように背ぶたを開けて、フィルムのリード部分を引き出したりするなどの面倒な準備は必要ありません。

2 プリントタイプを選べます。(→21)

→プリントタイプが3つ選べます。

- 従来と同じCタイプ
- ワイドなHタイプ
- パノラマのPタイプ

3 いろいろな磁気情報 (IX 情報) がフィルムに記録されます。

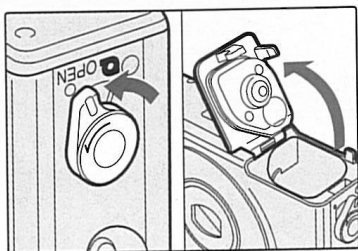
- フィルムには左に挙げたような情報が撮影時に記録されます。
- 撮影時の情報を利用して写真をプリントするため、高品質のプリントが得られます。

4 撮り終わったフィルムは、左のマークがある認定店で現像できます。(→27)

→現像後、写真とインデックスプリント、カートリッジ入りフィルムが返却されます。

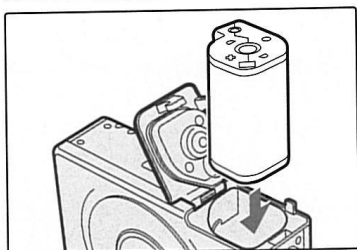
- 認定店で焼き増しをするときは、インデックスプリントまたはプリント裏面のIDナンバーと同じフィルムを出し、焼き増しする写真を番号で指定します。

操作早わかり



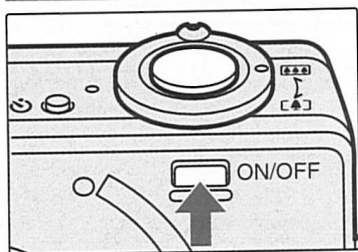
1 カートリッジ室ふたを開ける。(→17)

- ふたが開くまでレバーを回したままにします。



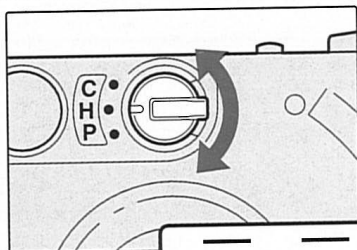
2 フィルムを入れ、ふたを閉める。(→17)

- カートリッジの使用状態マークが○(未使用)か、D(撮影途中)であることを確認してください。



3 電源を入れる。(→19)

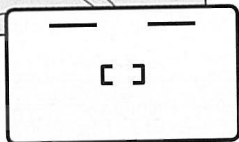
- レンズカバーが開きレンズがセットされます。



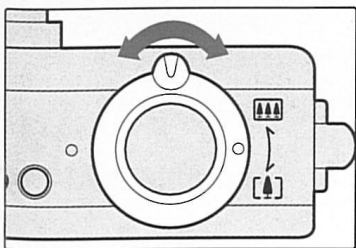
4 プリントタイプを選ぶ。(→21)

- ファインダーの画面が切り換わります。

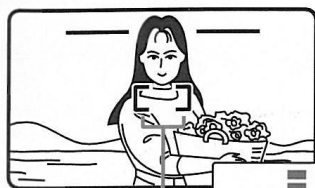
(Hタイプ)



詳しくは参照ページ (→ ■) をご覧ください。



5 ズームレバーを回して、
写したいものの大きさを決める。(→22)

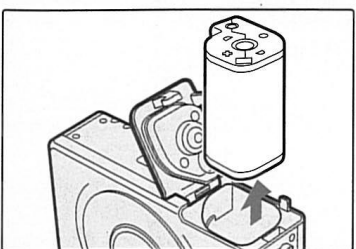


AF フレーム

6 AF フレームをあわせ、
シャッターボタンを押す。


(→23)

→ 逆光や暗い所ではストロボが自動的に発光します。



7 撮影が終わり、フィルム
巻き戻しが終わったら
フィルムを取り出す。

(→26)

- 表示パネルの  マーク点滅を確認してからカートリッジ室ふたを開けます。
- フィルムを取り出し、カートリッジ室ふたを閉じます。

各部の名称

(→ ■) は、参照ページです。

 リモコン/セルフタイマーボタン(→ 37, 38)
本文中では  で表します

シャッターボタン
(→ 23)

ズームレバー (→ 22)

ストロボ発光部
(赤目緩和ランプ内蔵)

測光窓

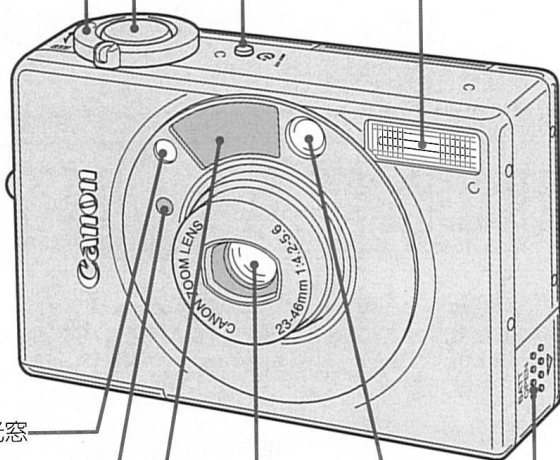
リモコン受信部

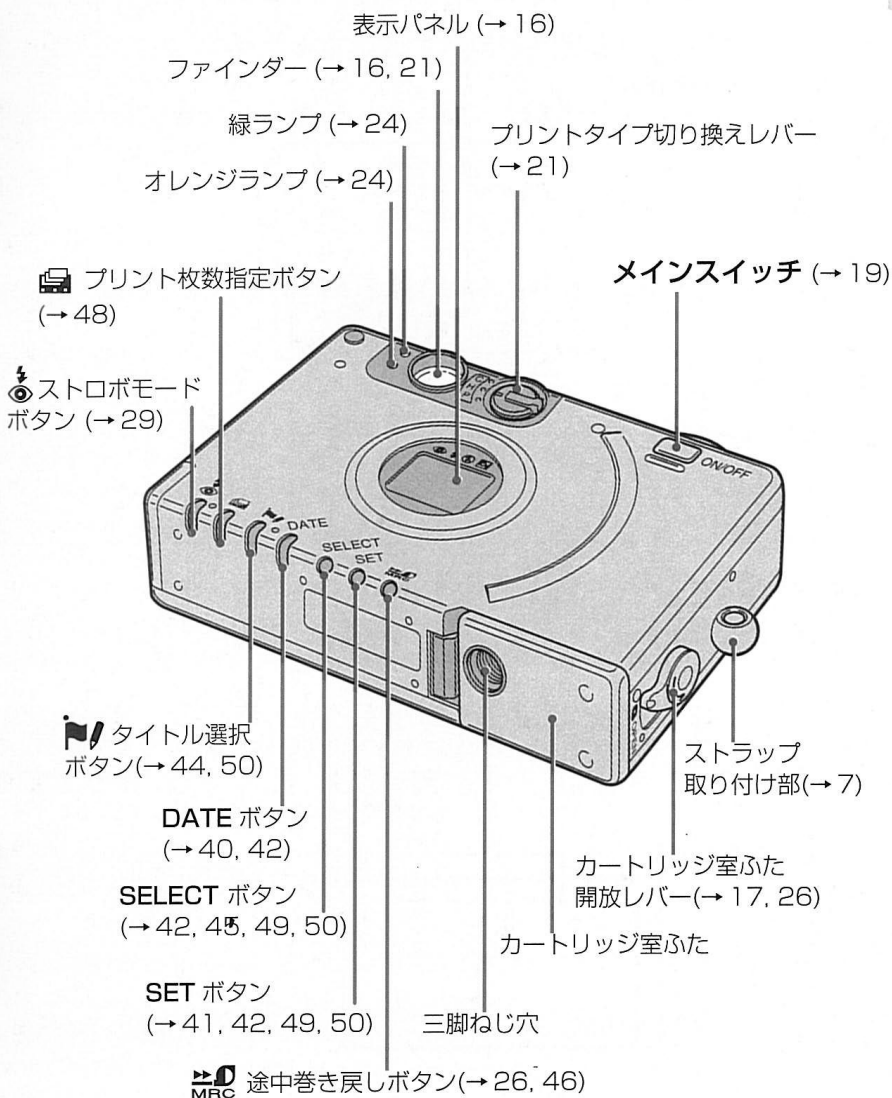
AF 投・受光部

レンズ

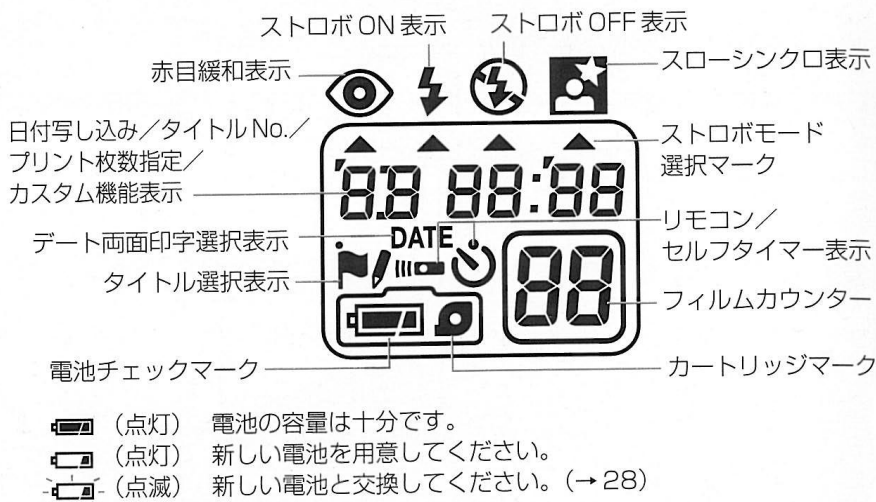
電池室ふた (→ 28)

ファインダー窓





表示パネル (通常は必要な情報だけが表示されます)



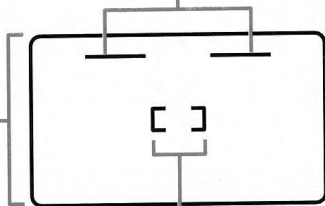
ファインダー内の名称

撮影範囲枠

この枠内で構図を
決めます。
(Hタイプ)

近距離撮影範囲マーク

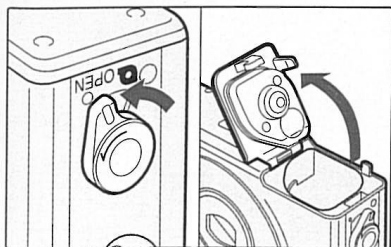
撮影距離が0.45～1mのとき
はこのマークより下側で構図を
決めます。このマークより上側
の範囲は写りません。(→25)



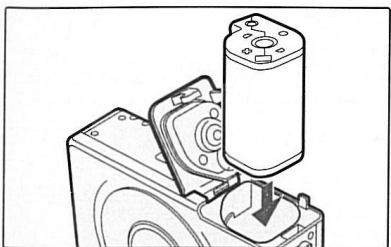
AFフレーム

写したいものにこのマークを
あわせませす。

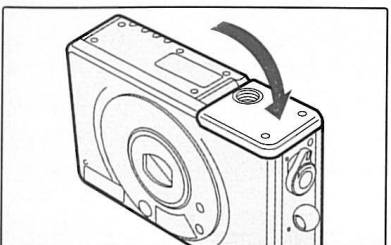
1 フィルムを入れる




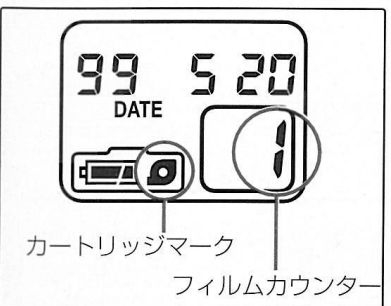
- 1 ふたを開ける。**
- ふたが開くまで、レバーを回したままにします。



- 2 フィルムを入れる。**
- フィルムの使用状態マーク側を外側に向けて入れます。



- 3 ふたを閉める。**
- カチッと音がするまで閉じます。
 - ➔ 表示パネルの  マークが点灯し、自動的にフィルムが送られます。

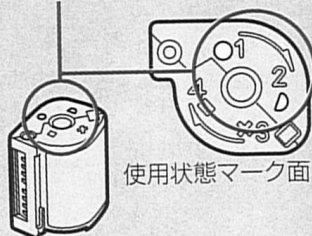


- 4 フィルムカウンターに「1」が表示される。**
- 「1」がでないときは、正しくフィルムが入っているか確認します。
 - D (撮影途中) マークのフィルムを入れると、カメラが自動的に未撮影コマまでフィルムを送り、フィルムカウンターにこれから撮影するコマの数値がでます。(→47)

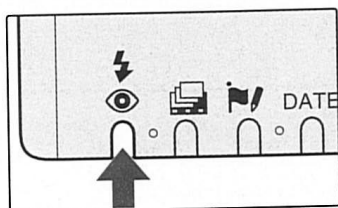
カートリッジフィルムについて

- IX240 カートリッジフィルムをご使用ください。
- 従来の 135 (35mm) フィルムは使用できません。
- フィルムの使用状態マークが ○(未使用)か D(撮影途中)マークのものをご使用ください。

○(未使用) マーク
D(撮影途中) マーク

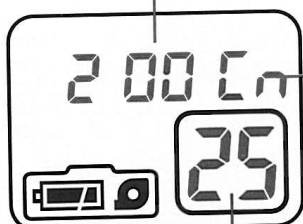


フィルム情報を確認する



フィルム感度

- メインスイッチ OFF の状態で、 ボタンを押します。
- 表示パネルに下図の情報がでます。



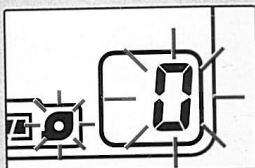
最大撮影枚数

フィルムタイプ

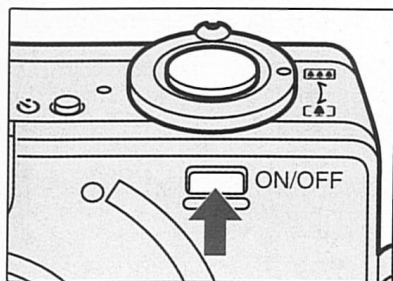
- Cn : カラーネガフィルム
- Cr : カラーリバーサルフィルム
- BL : モノクロフィルム
- : その他のフィルム



- ⊗(撮影済) や □(現像済) マークのフィルムを入れると、フィルムカウンターの「0」と マークが点滅します。○(未使用)か D(撮影途中) マークのフィルムを入れ直してください。



2 電源を入れる




メインスイッチを押す。




- ➔ レンズカバーが開き、レンズが広角側（23mm）にセットされます。
- ➔ ストロボモードはストロボオート（全自動撮影）に設定されます。（→ 29, 30）
- 再度押すとレンズが収納され、レンズカバーが閉じ、電源が切れます。



- レンズを手で押さえないでください。

電池をチェックする

電源を入れたとき表示パネルに  がでていることを確認します。

- （点灯） 電池の容量は十分です。
- （点灯） 新しい電池を用意してください。
- （点滅） 新しい電池と交換してください。（→ 28）

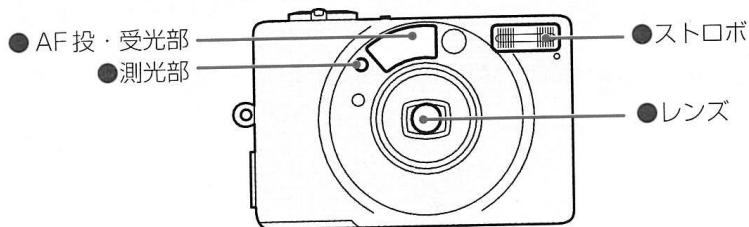
新品電池の寿命は、25枚撮りカートリッジで約10本（常温・ストロボ50%使用時／当社試験条件による）が目安です。



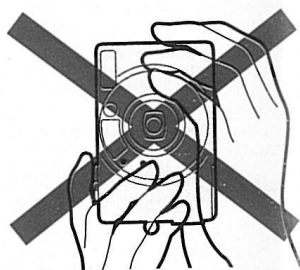
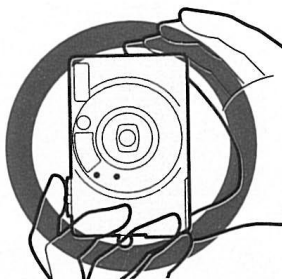
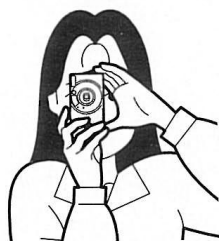
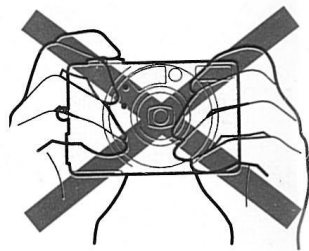
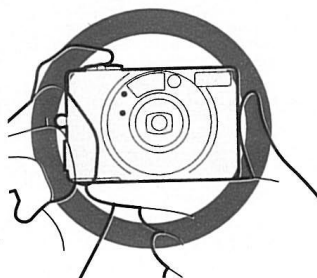
- 電池はリチウム電池 CR2 タイプを1本使用します。
- 撮影前には必ず電池をチェックしてください。
- 旅行のときや、写真をたくさん撮られるときは、予備の電池をご用意ください。特に海外では電池の入手が困難なことがあります。
- ストロボ撮影を連続して行くと、電池の能力が一時的に低下し、正しい表示が出ないときがあります。一度電源を切り、しばらく待ってから電源を入れ直してください。

3 カメラを構える

指写りを防ぎ、シャープな写真を撮るため●部に指や髪がかからないよう、十分注意してください。



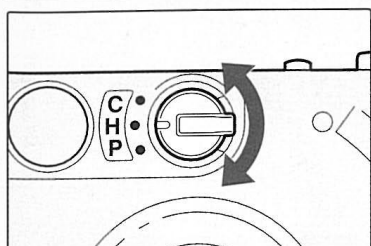
図のようにカメラを構えて撮影します。



● AF 投・受光部が汚れているとピントがあいにくくなります。汚れなどはきれいにふき取ってから撮影してください。

4 プリントタイプを選ぶ

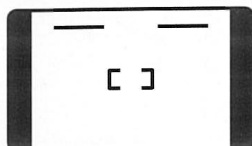
このカメラでは、Cタイプ、Hタイプ、Pタイプの3種類のプリントタイプを選ぶことができます。



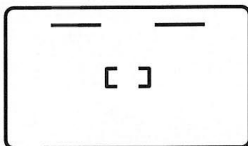
プリントタイプ切り換えレバーを回す。

- ➔ 下図のようにファインダーが切り換わり、プリントタイプが選択されます。
- 一枚ごとに途中切り換えできます。
- ➔ ファインダーの黒い部分はプリントされません。

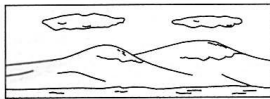
Cタイプ



Hタイプ



Pタイプ



写したいものにあわせ、お好みのプリントタイプを選びます。



- 撮影距離 0.45 ~ 1m のときは近距離撮影範囲マークより上側の範囲は写りません。(→ 16, 25)
- Pタイプでは2m以上離れて撮影してください。

5 写したいものの大きさを決める

ズームレバーで、写したいものの大きさを変えることができます。



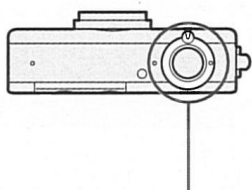
🌳 広角 (23mm)

風景や集合写真など広い範囲を撮影するときに使います。



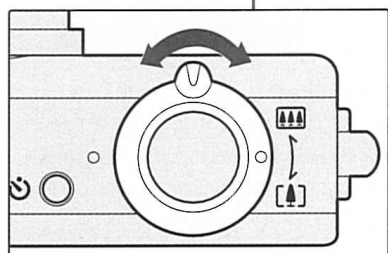
🔍 望遠 (46mm)

人物のアップなど写したいものを大きく撮影するときに使います。



ズームレバーを回す。

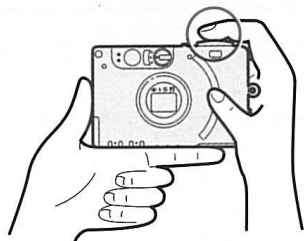
- 右に回すと望遠側に、左に回すと広角側にズームします。



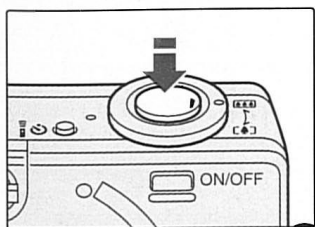
- 電源を入れるとレンズははじめ広角側 (23mm) にセットされます。
- レンズが望遠側に繰り出されたまま約4分放置されるとレンズ保護のため自動的に広角側に収納されます。

6 撮影する

シャッターボタンは二段階になっています。
一段目でピントと露出があい、二段目でシャッターがきれます。

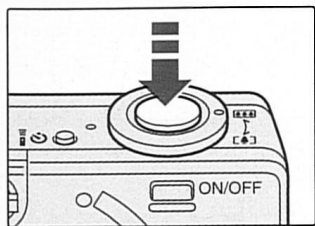


AFフレーム



1 ピントをあわせる。

- 写したいものにAFフレームをあわせ、シャッターボタンを軽く押します。
- ➔ ピントがあうと緑ランプが点灯します。
- シャッターボタンは軽く押したままにします。



2 撮影する。

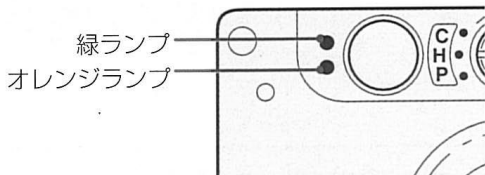
- さらにシャッターボタンを押し込みます。
- ゆっくり、静かに押ししてください。
- ➔ シャッターがきれます。



- シャッターボタンを押してからシャッターがきれるまで、ほんのわずかですが間があります。撮影完了の目安となるフィルム巻き上げ音がするまでカメラを構えたまま動かさないでください。
- カスタム機能CF1を設定すると、瞬時にシャッターがきれるリアルタイムリリースで撮影できます。(➔ 50, 51)

緑ランプ／オレンジランプについて

シャッターボタンを軽く押したとき、ランプの点灯や点滅で撮影の準備を知らせます。



緑ランプ

点灯：撮影準備完了（ピントあわせ完了）

点滅（4回／秒）：近距離警告※1

オレンジランプ

点灯：ストロボ充電完了

点滅（4回／秒）：手ブレ警告（ストロボOFF時）※2

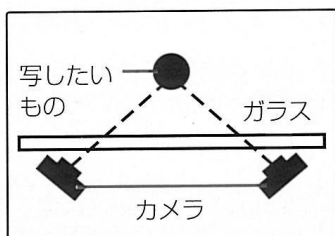


※1 ●近距離警告が出たら、点滅しない距離まで離れてシャッターボタンを押し直します。

近距離警告範囲はC、Hタイプ時25～45cm、Pタイプ時25cm～2mです。25cmより近づいた場合でも緑ランプが点灯する場合があります。近すぎないように注意してください。

※2 ●手ブレ警告が出たら三脚などの使用をおすすめします。

ガラス越しの撮影について



ガラス越しで撮影するときは、ガラス面にできるだけ近づけて（20cm以内）、斜めの位置から撮影します。

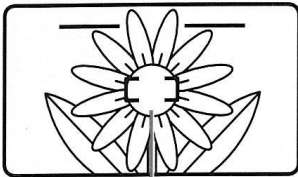
なお、離れすぎるとガラスにピントがあうことがあります。

近距離撮影について

撮影距離 0.45 ~ 1m では、ファインダーで見える範囲と実際に写る範囲にずれが生じるため、近距離撮影範囲マークより上側は写りません。

撮影距離 0.45 ~ 1m では、近距離撮影範囲マークを使用して次の手順で撮影してください。

基本編



AF フレーム

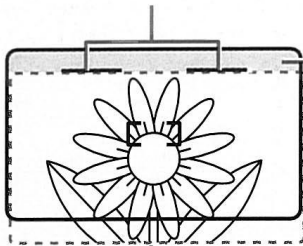
1 ピントをあわせる。

- 写したいものに AF フレームをあわせ、シャッターボタンを軽く押します。
- 緑ランプの点灯を確認します。
- シャッターボタンは軽く押したままにしておきます。

2 構図を変え、撮影する。

- 写したいものが近距離撮影範囲マークの下にくるようにして、撮影します。
- 写したいものからの距離は変えないでください。

近距離撮影範囲マーク



ファインダーで見えても写らない範囲


実際に写る範囲 (-----線内)



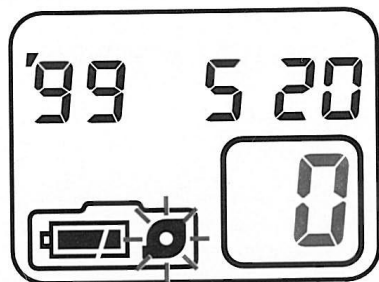

- Pタイプではファインダーで見える範囲と実際に写る範囲のずれが大きいため 2m 以上離れて撮影してください。



7 フィルムを取り出す

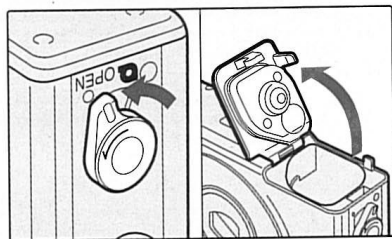
フィルムを最後まで撮り終わると自動的にフィルムが巻き戻されます。

巻き戻し中は、フィルムカウンターの数値が減っていき、巻き戻しが完了すると  マークが点滅します。

- フィルムを撮り終わる前に取り出すには (→ 46)
- カスタム機能 CF3 を設定すると、フィルムを最後まで撮影した後の自動巻き戻しをしないようにできます。(→ 50)

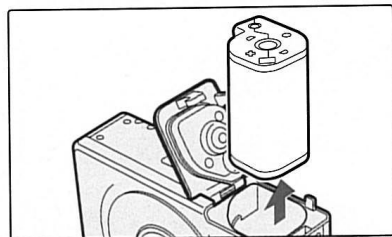
1  マークが点滅していることを確かめる。

-  マークが点滅していないときはボタン押し突起 (→ 7) を使って  ボタン (→ 15) を押します。





2 ふたを開ける。

- ふたが開くまでレバーを回したままにします。



3 フィルムを取り出す。

- ➔ 表示パネルの  マークが消えます。
- ➔ フィルムの使用状態マークが  (撮影済) になります。

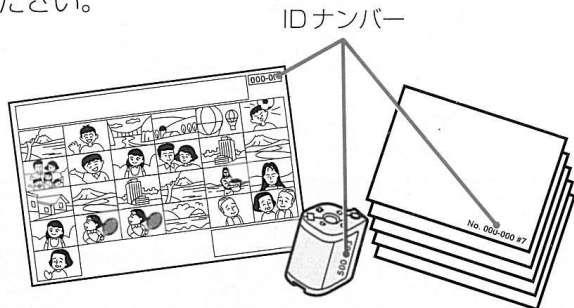
現像・プリントに出すには

- 店頭で右のマークがある認定店に出すと現像・プリントができます。
- ★ 認定店では以下のサービスを受けることができます。
 - ① カートリッジ入りフィルムの返却
 - ② 3種類のプリントタイプ
 - ③ インデックスプリントの作成
 - ④ プリント品質の向上
 - ⑤ 日付・タイトルの裏印字




撮影後のカートリッジフィルムの取り扱い等について

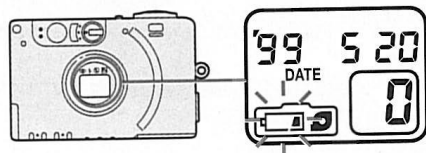
- 認定店で焼き増しをするときは、焼き増しをしたい写真の裏面、またはインデックスプリントに書かれているIDナンバーとフィルムのIDナンバーが同じかどうかを確認の上、フィルムをお出しください。



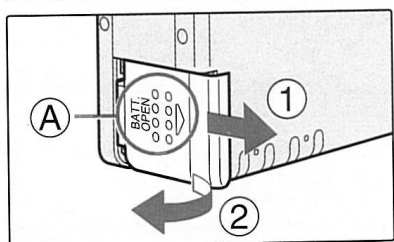
- 現像後に返却されるカートリッジフィルムとインデックスプリントは大切に保管してください。
- 撮影が終わったフィルムのマークは ☼ (撮影済) に、現像が終わったフィルムの使用状態マークは □ (現像済) になります。
- カメラやフィルムをテレビやスピーカーなど、強い磁力を発生する機器に近づけないでください。

8 電池を交換する

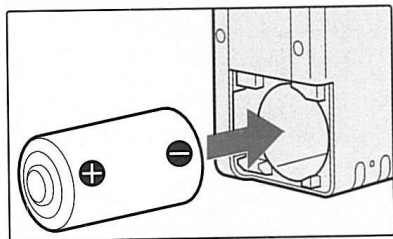
表示パネルに  が点滅したときは、新しい電池と交換します。
(→ 19)



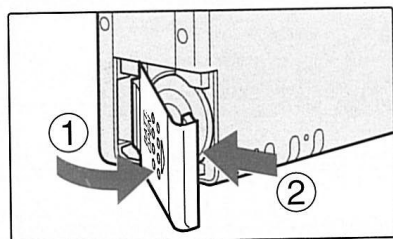
[使用電池]
リチウム電池 CR2 タイプ
1 本使用




- 1 ふたを外す。**
- ①を押しながら止まるまでスライドさせて①、ゆっくりふたを開き②、外します。
 - ふたや電池が飛ばないように注意してください。



- 2 新しい電池を入れる。**
- +-を正しくあわせて入れます。

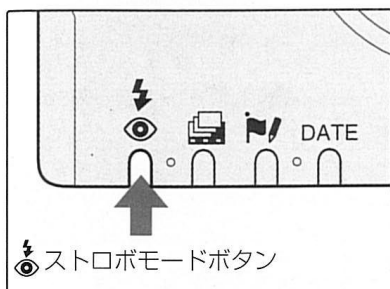


- 3 ふたを付ける。**
- ふたの先端部を引っかけながら押しつけ①、スライドさせて②、取り付けます。
 - ➔ 表示パネルに  がでます。
 - ➔ 表示パネルの日付が「-- --」で点滅しますので、日付と時刻を設定します。(→ 42)

ストロボモードを変える

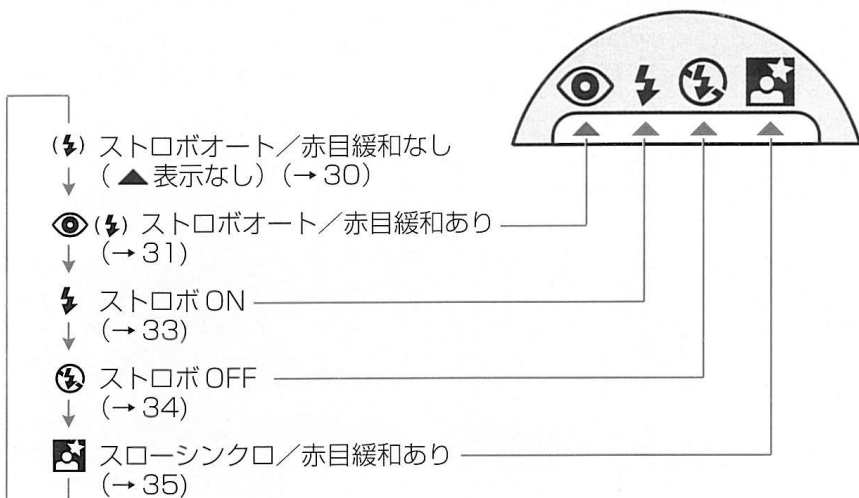
写したいものや撮影場所にあわせて、ストロボを常に発光させたり、発光を止めたりすることができます。

- (⚡) と (👁️⚡) は記憶機能があり、工場出荷時はメインスイッチ ON で (⚡) になるよう設定されていますが、(👁️⚡) を選択している状態でメインスイッチの OFF/ON を行うと、(👁️⚡) が記憶され、モードの循環も (👁️⚡) からとなります。
- カスタム機能の CF2 を設定すると、電源を切る直前のストロボモードを記憶させることができます。(→ 50)



ストロボモードを選択する。

- (👁️⚡) ボタンを押すたびに表示パネル上の ▲ が移動します。
 - 選択するストロボモードの下に ▲ をだします。
- ストロボオート/赤目緩和なしでは、表示パネル上の ▲ はできません。

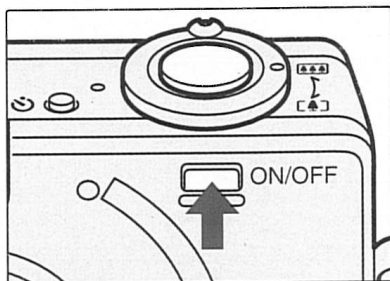


※ (⚡)、(👁️⚡) でストロボが自動発光するときにはシャッターボタンを軽く押すと ⚡ の下に ▲ が表示されます。

1 (⚡)ストロボオート/赤目緩和なし

人物以外の撮影、または人物の撮影でも赤目緩和機能を使用せず、すぐにシャッターをきりたいときは、このモードにします。

また逆光時や暗いときは、シャッターボタンを押し込むとストロボが自動的に発光します。



メインスイッチを押す。


- ➔ (⚡)ストロボオート/赤目緩和なしにセットされます。
- ➔ 表示パネル上の ▲ はできません。
- ➔ ストロボが自動発光するときは、シャッターボタンを軽く押しと⚡の下に ▲ ができます。
- 撮影します。

ストロボの届く距離

(ネガカラープリント用カートリッジフィルム使用時)

フィルム感度	広角	望遠
ISO100	0.45m～3.0m	0.45m～2.2m
ISO200	0.45m～4.2m	0.45m～3.1m
ISO400	0.45m～6.0m	0.45m～4.4m

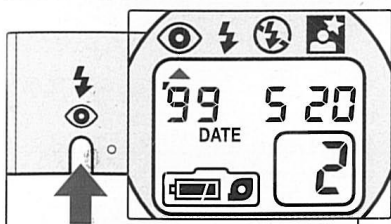





● 表示パネルに ▲ がでている場合は、▲ 表示が消えるまで  ボタンを押します。

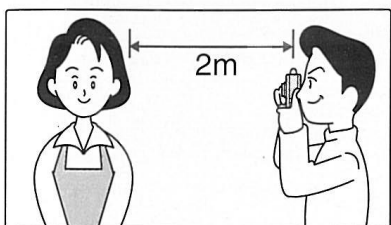
ストロボモードを変える

2 (⚡) ストロボオート/赤目緩和

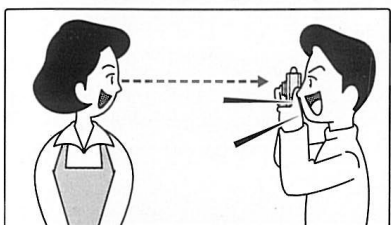
暗い場所などでの撮影で人物の赤目現象を緩和したいときは、このモードにします。シャッターボタンを押すと赤目緩和ランプが点灯し、ストロボが発光します。



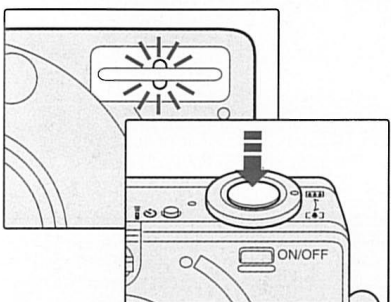
- 1  に設定する。
 -  ボタンを押して、表示パネル上の▲を  の下にだします。



- 2 写したい人に2m程度まで近づく。
 - 赤目緩和ランプは2mまでが効果的です。



- 3 声をかけてカメラを注視してもらう。
 - 写される人がまっすぐランプを見ないと赤目緩和の効果がありません。




- 4 シャッターボタンをゆっくり最後まで押す。
 - 赤目緩和ランプが点灯します。このとき約1秒間はシャッターがきけません。
 - フィルム巻き上げ音がするまでシャッターボタンは押したままにします。

赤目緩和撮影機能について

暗い場所で人物をストロボ撮影すると、目が赤く輝いて写ることがあります。これを赤目現象と言い、ストロボの光が目の網膜に反射して起こります。

◎モード時はストロボ発光の前に赤目緩和ランプを約1秒間点灯させることで写る人のひとみを小さくし、赤目現象の発生を緩和します。



- 赤目緩和ランプが点灯するときは、効果を高めるために約1秒間シャッターはきれません。すぐにシャッターをきりたいときは  ボタンで (4) (→30) を選択して撮影します。



赤目緩和機能で撮影するときの注意

1. この機能は、写される人がランプを注視していないと効果がありませんので、写される人にランプを注視するように声をかけてください。
2. 写したい人から2m以内に近づいて撮影します。
3. 赤目緩和効果の度合には個人差があります。
4. レンズを広角側にして撮影します。
5. 室内はできるだけ明るくしてください。

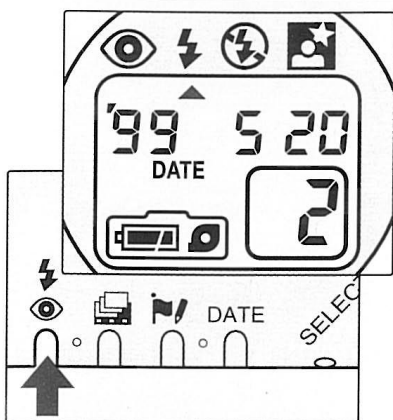
ストロボモードを変える

3 ⚡ ストロボ ON モード

撮影場所の明るさに関係なくいつでもストロボが発光します。日中の逆光時や写したいものの影をやわらげるのに有効です。



応用編

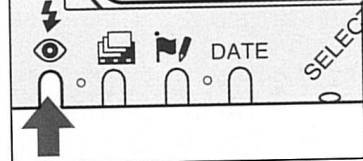
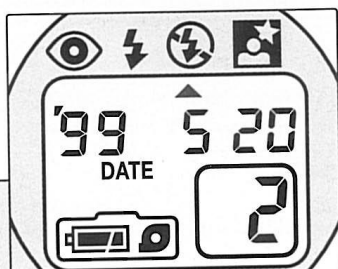



⚡ に設定する。



- ⚡ ボタンを押して、表示パネル上の▲を⚡の下にだします。
- 撮影します。

4 ストロボ OFF モード

撮影場所が暗くても、ストロボが発光しません。夜景の撮影、ストロボ使用が禁止されている場所での撮影、室内照明を利用したの撮影をするときに有効です。



 に設定する。

-  ボタンを押して、表示パネル上の▲を  の下にだします。
- 撮影します。

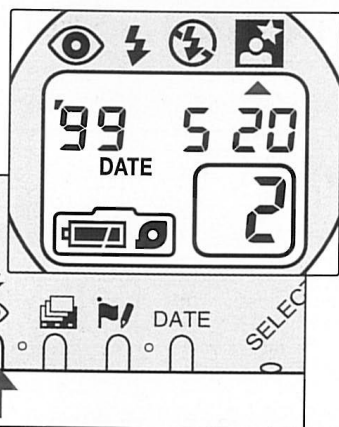


- 暗い場所でのストロボ OFF モード撮影は、シャッタースピードが遅く（最長約 2 秒）になるので手ブレに注意してください。
- オレンジランプが点滅（手ブレ警告）したときは、しっかりした台の上に置るか、三脚などを利用してください。

ストロボモードを変える

5 [] [] [] スローシンクロ/赤目緩和

スローシンクロは、夕暮れや夜景などを背景にして人物を撮影するときに効果的な機能です。シャッタースピードを低速にすることでストロボの光が届かない遠くの背景まで写し込むことができます。



[] に設定する。

- [] ボタンを押して、表示パネル上の▲を [] の下にだします。
- ➔ 約1秒後に [] と [] の下にも▲がでます。
- 撮影します。



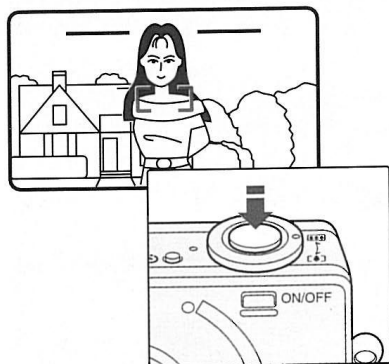
- [] では、シャッタースピードが遅く（最長約2秒）なりますので、必ず三脚などを利用し、カメラを固定してください。また、ストロボが光った後も、写される人がすぐには動かないようにしてください。



- [] のときには赤目緩和機能がはたらきます。
- 撮影条件によっては、[] (→ 30) で撮影したほうがきれいな写真が撮れる場合がありますので、[] と [] の両方で撮影しておくことをおすすめします。

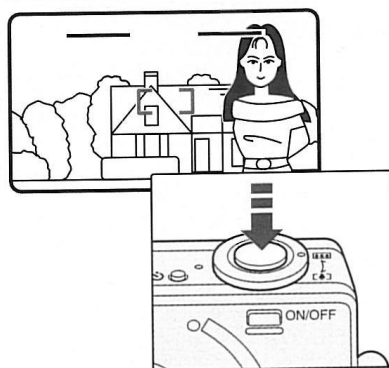
フォーカスロック撮影

写したいものをファインダーの端において撮影するときは、フォーカスロック撮影をします。



1 フォーカスをロックする。

- 写したいものにAFフレームをあわせ、シャッターボタンを軽く押す。
- ➔ ピントがあうと緑ランプが点灯します。
- シャッターボタンは軽く押したままにします。



2 構図を決め、撮影する。

- 構図を決めます。
- さらにシャッターボタンを押し込みます。
- ゆっくり静かに押ししてください。
- ➔ シャッターがきれます。



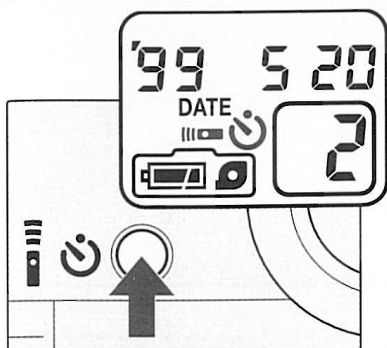
- 写したいものとカメラの距離が変わらないように注意してください。距離が変わったときは、やり直してください。



- セルフタイマー/リモコン撮影では、手順1の操作を行うと、シャッターボタンから指を離しても、約4分間フォーカスロックしたままとなりますので、あらかじめピントをあわせて、構図を決めてから撮影することができます。

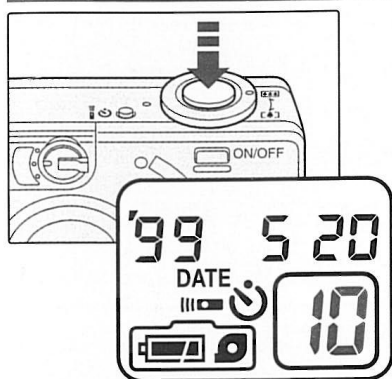
☺セルフタイマー撮影

セルフタイマーを使うと、カメラから離れて撮影することができます。



1 セルフタイマー撮影にする。

- ➔ ボタンを押します。
- ➔ 表示パネルに ができます。
- 再度 ボタンを押すと 表示が消え、セルフタイマー撮影が解除されます。



2 構図を決め、シャッターボタンを押す。

- ➔ 赤目緩和ランプの点滅（1回/秒）と表示パネル上のカウントダウンでお知らせします。
- ➔ 約10秒後にシャッターがきれます。
- 途中でやめるには ボタンを押します。



- カメラの直前に立ってシャッターボタンを押さないでください。ピン트가ボケる原因となります。

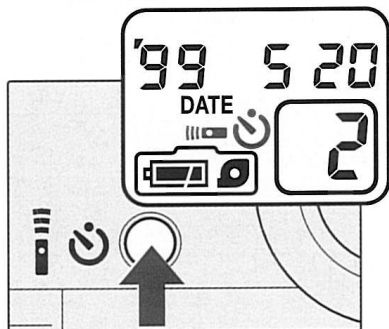
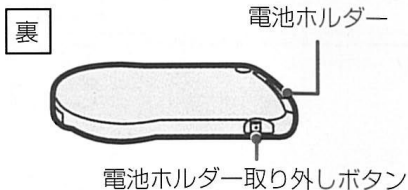


- シャッターがきれ約2秒前になるとランプの点滅はさらに速くなります。赤目緩和撮影でストロボが発光するときには点灯に変わります。
- セルフタイマー撮影は が表示されている約4分間有効で、続けて撮影することができます。
- カメラはしっかりと台の上に置くか、三脚などをご利用ください。
- フォーカスロック撮影は、通常撮影と同様に行うことができます。（→36）

リモコン撮影

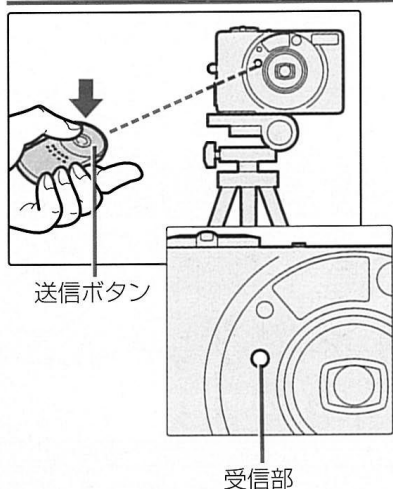
リモートコントローラー（リモコン）を使用するとカメラの正面から約5m離れて撮影できます。

リモコン (RC-5) の各部名称



1 リモコン撮影に設定する。

- 送信ボタンを押します。
- 表示パネルに送信機と受信機アイコンが表示されます。
- 再度送信ボタンを押すと送信機と受信機アイコンが消え、リモコン撮影が解除されます。



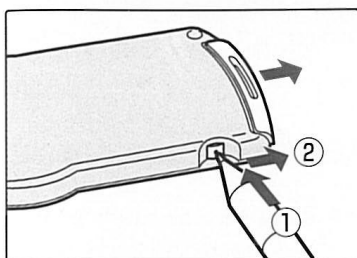
2 撮影する。

- フォーカスロック（→36）してから構図を決め、送信部をリモコン受信部に向けて送信ボタンを押します。
- リモコンの受信は赤目緩和ランプの点滅（1回／秒、赤目緩和のときは点灯）と表示パネル上のカウントダウンでお知らせします。
- 約2秒後にシャッターがきれます。

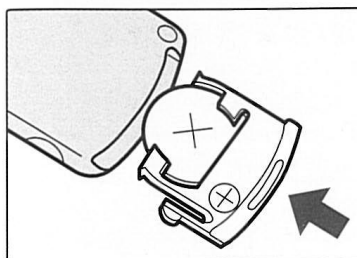
リモコンの電池交換

リモコン撮影でシャッターがきれなくなったら、新しい電池と交換してください。

使用電池：リチウム電池 CR 2032 3V、1 個を使用します。



- 1 電池ホルダーを外す。**
 - ボールペンなどの先端で取り外しボタンを押しながらスライドさせます。



- 2 電池を入れ換えてホルダーを入れる。**
 - + を正しくあわせて入れます。



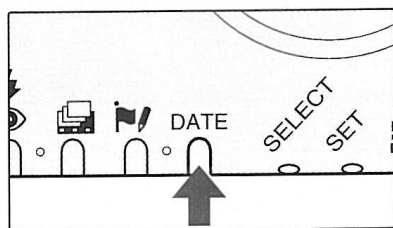
- リモコン受信部に太陽や蛍光灯の光が強くあたっていると、リモコン撮影できないことがあります。このようなときはセルフタイマーで撮影するか、カメラを移動してください。
- リモコン受信状態時に蛍光灯が近くにあると、蛍光灯の影響でカメラのリモコン機能が誤作動することがあります。この場合はカメラを蛍光灯から遠ざけて使用してください。



- リモコン撮影は が表示されている約 4 分間有効で、続けて撮影することができます。
- カメラをしっかりとした台の上におくか、三脚などをご利用ください。
- フォーカスロック撮影は、通常撮影と同様に行うことができます。(→ 36)

日付／時刻を記録する

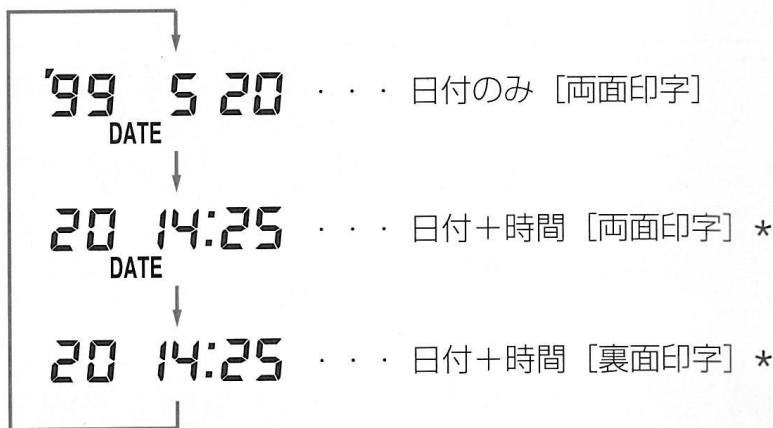
撮影した日付や時刻を写真の裏面もしくは両面に印字することができます。



日付／時刻の組みあわせを選ぶ。

- DATE ボタンを押すたびに日付／時刻の組みあわせが変わります。
- 希望する日付／時刻の組みあわせをだした状態で撮影します。

日付／時刻の組みあわせ表示

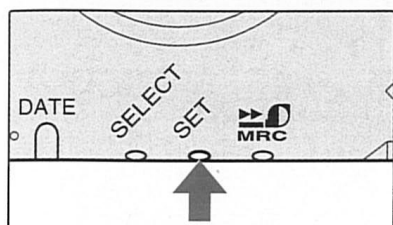


* 表示パネルには日時分 (20 14:25) がでますが、印字は選択した日付の種類 (年月日／月日年／日月年) と時分の組みあわせ (例：'98 5 20 14:25) で行われます。



- 文字の大きさ、形状、色、印字位置、両面への印字の可否は現像・プリント店によって変わる場合があります。
- 日付／時刻とタイトルは、フィルムに写し込むのではなくフィルムにカメラが磁気記録したデータ (IX 情報) を元に、プリント時に印字されるものです。
- 写真の裏面には日付や時刻のほかに、カートリッジの ID ナンバーとその写真が、フィルムの何枚目かを表すコマ数が印字されます。

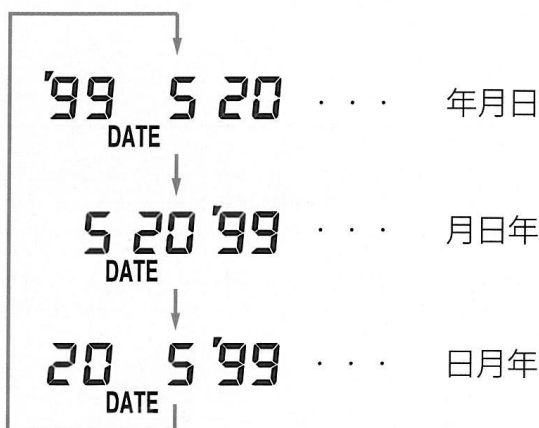
日付の種類を選ぶ



日付の種類を選ぶ。

- SET ボタンを押すたびに日付の種類が変わります。
- ストラップ止め具のボタン押し突起を使用します。(→7)

日付の種類表示

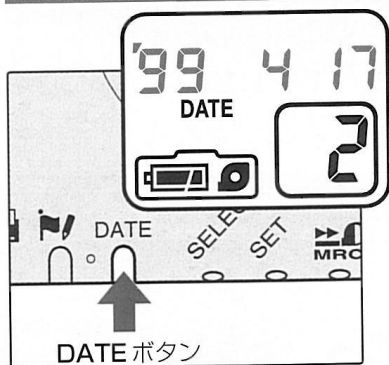


- 選択した日付の種類は、電池交換を行っても保持されます。

日付／時刻を設定する

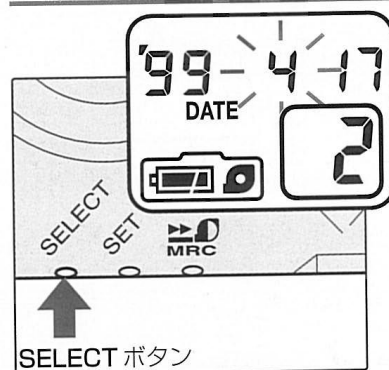
電池を交換したときや海外旅行などで日付／時刻を設定・修正するときには次のような手順で行います。

- **SELECT**、**SET** ボタンを押すときは、必ずストラップ止め具のボタン押し突起を使用します。(→7)



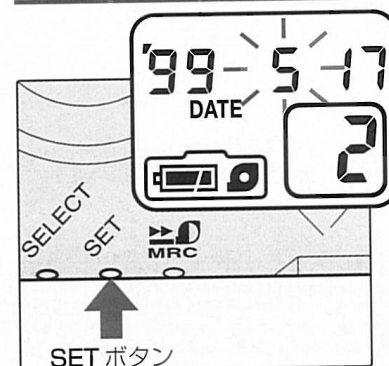
1 日付のみ表示にする。

- **DATE** ボタンを押して、日付のみ表示にします。
- 時刻の設定は手順5から行います。



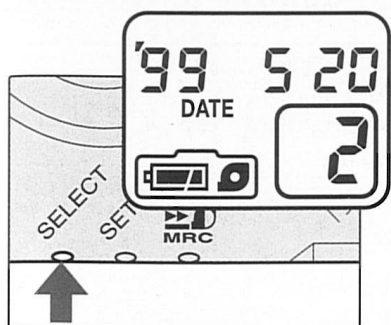
2 設定する日付を選ぶ。

- **SELECT** ボタンを押して設定する位置を選びます。
- 設定位置（数字の点滅）は、年月日の順に変わります。



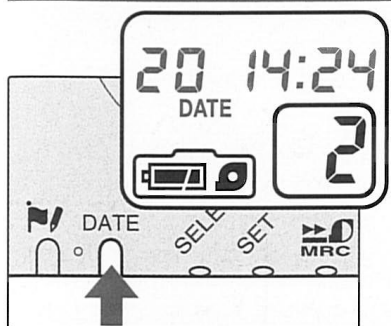
3 日付を設定する。

- **SET** ボタンを押して日付を設定します。
- 2秒以上押し続けていると連続送りになります。



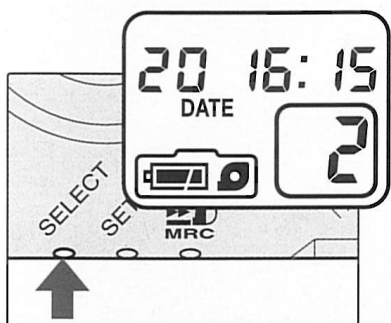
4 全ての日付を設定する。

- 手順2と手順3を繰り返し、全ての日付を設定します。
- **SELECT** ボタンを押し点滅している日付がなくなれば日付設定は完了です。



5 日付+時間表示にする。

- **DATE** ボタンを押して日付+時間表示にします。
- 日付+時間表示では日付の設定はできません。



6 全ての時間を設定する。

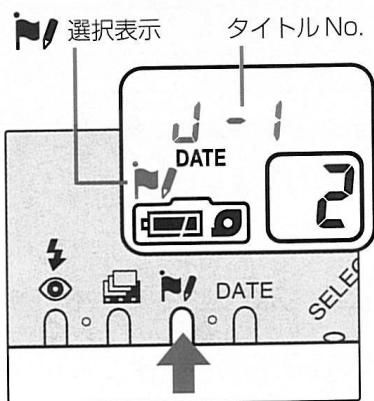
- 手順2と手順3を繰り返し、全ての時間を設定します。
- **SELECT** ボタンを押し、「:」が点滅しなくなれば時刻設定は完了です。



● 電池交換を行うと、表示パネルの日付表示が「-- --」点滅表示（日付/時刻の印字なし）になりますので、そのときの日付/時刻の設定は、手順2, 3, 4, 6の順に行います。

🚩 タイトルを記録する

タイトルを写真裏面に印字することができます。



🚩 ボタンを押す。

- ➔ 表示パネルに 🚩 とタイトル No.がでます。
- ➔ 🚩 ボタンを押すたびにタイトル No.が変わります。
- 希望するタイトル No.を選んで撮影します。

日本語タイトルの内容

J-1 オメデトウ ←

↓
J-2 カンゲキ!

↓
J-3 カワイイデショ!

↓
J-4 ヨロシク!

↓
J-5 ウレシイナ

タイトルの記録をやめるには

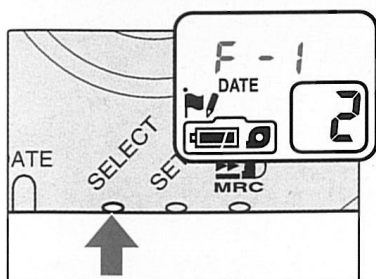
- **DATE** ボタンを押し、表示パネルの 🚩 を消します。



- タイトルは1枚撮影するごとに日付/時刻に戻ります。継続したいときは、🚩 ボタンを2秒以上押し、表示パネルの 🚩 を点滅させます。
- 文字の大きさ、形状、色、印字位置、対応言語などは現像・プリント店によって変わる場合がありますので、事前に現像・プリント店にご確認ください。
- 日付/時刻も、同時に記録して印字されます。
- 表面印字を希望される場合は、事前に現像・プリント店にご確認ください。

各言語のタイトルを選ぶ

- **SELECT** ボタンを押すときは、必ずストラップ止め具のボタン押し突起を使用します。(→ 7)



言語を選ぶ。

- が表示されている状態で、**SELECT** ボタンを押すと、押すたびに言語が J (日本語)、E (英語)、F (フランス語)、D (ドイツ語)、ES (スペイン語)、I (イタリア語) の順に変わります。

英語のタイトル内容

- E-1 I LOVE YOU
- E-2 THANK YOU
- E-3 SEASON'S GREETINGS
- E-4 HAPPY BIRTHDAY
- E-5 CONGRATULATIONS

フランス語のタイトル内容

- F-1 JE T'AI ME
- F-2 MERCI
- F-3 MEILLEURS VOEUX
- F-4 JOYEUX ANNIVERSAIRE
- F-5 FÉLICITATIONS

ドイツ語のタイトル内容

- D-1 ICH LIEBE DICH
- D-2 DANKE SCHÖN
- D-3 HERZLICHE GLÜCKWÜNSCHE
- D-4 FRÖHLICHE WEIHNACHTEN
- D-5 FROHES NEUES JAHR

スペイン語のタイトル内容

- ES-1 TE QUIERO
- ES-2 GRACIAS
- ES-3 FELICES PASCUAS
- ES-4 FELIZ CUMPLEAÑOS
- ES-5 FELICIDADES

イタリア語のタイトル内容

- I-1 TI AMO
- I-2 GRAZIE
- I-3 BUONE FESTE
- I-4 BUON COMPLEANNO
- I-5 CONGRATULAZIONI

各言語タイトルの日本語での意味

E、F、ES、I

- 1 表示 愛しています
- 2 表示 ありがとう
- 3 表示 メリークリスマス
- 4 表示 お誕生日おめでとう
- 5 表示 おめでとう

D

- 1 表示 愛しています
- 2 表示 ありがとう
- 3 表示 おめでとう
- 4 表示 メリークリスマス
- 5 表示 明けましておめでとう



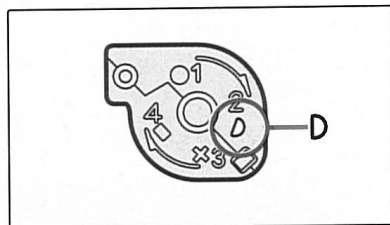
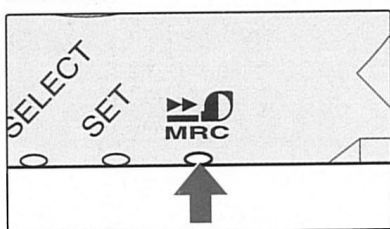
カートリッジ途中交換機能について

このカメラは、APSの大きな特長の1つである「カートリッジ途中交換機能」に対応しています。

この機能は、途中で巻き戻したフィルムを再度カメラにセットすると自動的に未撮影コマまでフィルムを巻き上げ、そこから続きを撮影することができるという便利な機能です。この機能を活用すると、撮影テーマごとや種類、感度の異なった複数のフィルムをいつでも入れ換えて撮影することができます。

フィルムを撮り終える前に取り出すには

- ボタンを押すときは、必ずストラップ止め具のボタン押し突起を使用します。(→7)



ボタンを押す。

- 巻き戻しがはじまります。
- 巻き戻し完了（表示パネルの マークの点滅）を確認してから、フィルムを取り出します。
- フィルムの使用状態マークが D（撮影途中）マークになります。



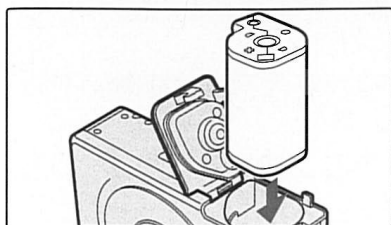
MRC は Mid Roll Change の略称です。

(ミッド ロール チェンジ)



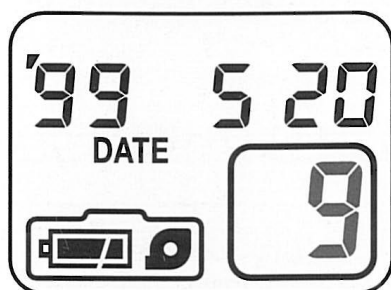
- フィルム巻き戻し中に表示パネルの マークとフィルムカウンターが点滅した場合はフィルム巻き戻し中に不都合が生じたことを示しています。この場合は一度電池を入れ直してから再度 ボタンを押します。それでも作動しない場合は、メインスイッチを OFF にして、お近くのキャノンサービスセンターにお持ちください。

撮影途中のフィルムを入れるには



「フィルムを入れる」と同じ手順で撮影途中フィルムを入れる。(→17)


→カメラが自動的に未撮影コマまでフィルムを送ります。



未撮影コマまでのフィルム送り所要時間 (新品電池使用時)

フィルムの撮影状態	所要時間
1枚撮影済み、2コマ目セットの場合	約11秒
39枚撮影済み、40コマ目セットの場合	約25秒



- テレビ塔のような強い電波や磁気の発生する場所では、撮影途中のフィルムを入れてもフィルムを送らない場合があります。このときは表示パネルのフィルムカウンターの「0」と  マークが点滅して警告します。警告が出た場合は撮影途中のフィルムを取り出してください。なお、この現象が起きた場合でも、未使用フィルムのセットはできます。
- カートリッジ途中交換機能に対応していないカメラ (例: キヤノンIXYなど) に、撮影途中のフィルムを入れるとフィルム送りはされず、撮影済み状態にセットされてしまいそれ以後の、未撮影コマの撮影ができなくなりますので注意してください。

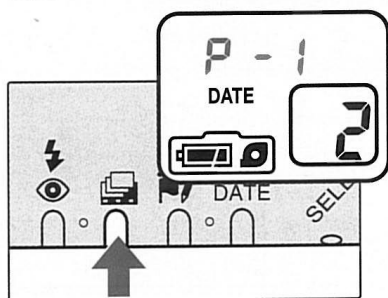
プリント枚数を指定する

この操作を行うと、同時プリント時のプリント枚数（0～9枚）を指定することができます。焼き増しの手間をはぶいたり、撮影に失敗したコマをプリントしたくないときに便利です。

なお、プリント枚数指定の設定・修正ができるのはこれから撮影する1コマと撮影直後の1コマだけです。

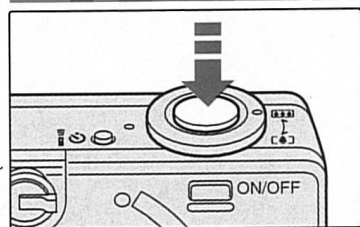
- ネガフィルムを入れたときのプリント枚数は、1枚（P-1）に自動設定されています。
- リバーサルフィルムを入れたときのプリント枚数は、0枚（P-0）に自動設定されています。
- SELECT、SET ボタンを押すときは、必ずストラップ止め具のボタン押し突起を使用します。（→7）

これから撮影するコマのプリント枚数指定



1 プリント枚数を指定する。

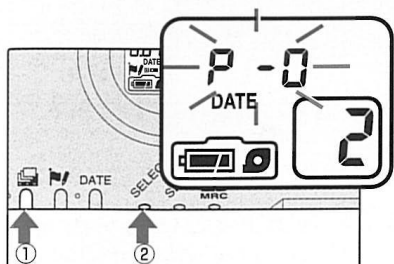
- 冂 ボタンを押します。
→ 押すたびに P-1、P-2...P-9、P-0、P-1 の順に変わります。（リバーサルフィルム使用時は、P-0からの循環）
- 2秒以上押し続けていると連続送りになります。



2 撮影する。

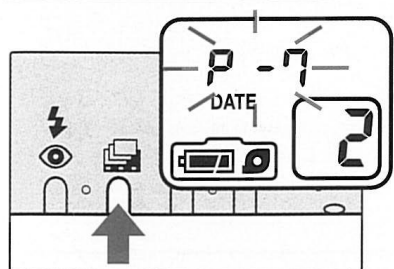
- 1枚撮影するとプリント枚数指定が解除され、通常の1枚プリントとなります。（リバーサルフィルム使用時は、0枚プリント）

撮影直後のコマのプリント枚数指定



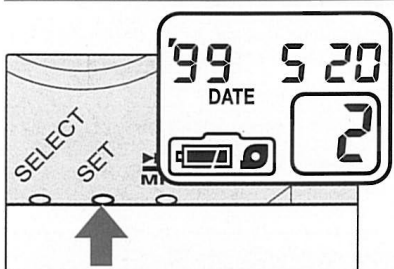
1 撮影直後の枚数指定にする。

- ボタンを押してから①、SELECT ボタンを2秒以上押します②。
- ➔ 表示パネルにP-0（プリントなし）が点滅します。



2 プリント枚数を指定する。

- ボタンを押します。
- ➔ 押すたびにP-1、P-2...P-9、P-0、P-1の順に変わります。
- 2秒以上押し続けていると連続送りになります。



3 指定を完了する。

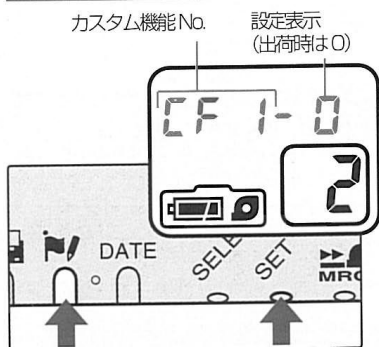
- SET ボタンを押します。
- ➔ フィルムを1コマ巻き戻して、プリント枚数を書き換えます。
- 日付／時刻表示に戻ります。



- 指定完了前に電源を切ると指定前の状態に戻ります。
- 電池交換で日付の表示が「- - - -」ではプリント枚数指定できませんので日付の設定をしてからプリント枚数指定を行ってください。（→42）
- プリント枚数指定は、現像・プリント店によってできない場合がありますので、事前に現像・プリント店にご確認ください。

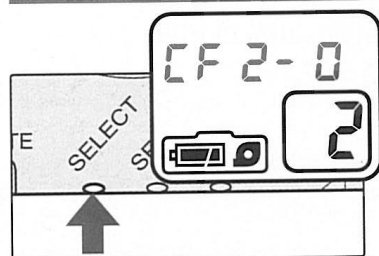
カスタム機能を設定する

カスタム機能 No.		設定内容	
リアルタイムリリース	CF1	0	しない
		1	する
ストロボモードの記憶	CF2	0	しない
		1	する
自動巻き戻し	CF3	0	する
		1	しない



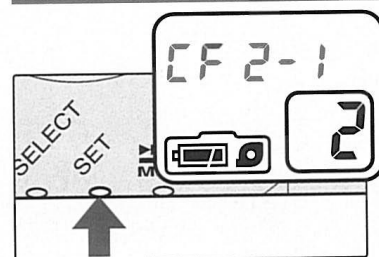
1 カスタム機能設定にする。

- メインスイッチがOFFの状態で行います。
 - ボタンを押しながら SET ボタンを押します。
 - ストラップ止め具のボタン押し突起を使用します。(→7)
- CF1-0 ができます。



2 機能を選択する。

- SELECT ボタンを押すたびに CF1、CF2、CF3、CF1 の順に変わります。
- ストラップ止め具のボタン押し突起を使用します。(→7)



3 機能を設定する。

- SET ボタンを押して設定表示を 1 (機能設定) にします。再度押すと 0 (機能解除) になります。
- DATE ボタンかメインスイッチを押すと設定が完了します。



● カスタム機能の設定内容はメインスイッチの ON/OFF やフィルム交換、電池交換を行っても保持されます。

1 設定時の効用

シャッターボタンを全押しすると、瞬時（0.03秒後）に撮影することができます。一瞬のシャッターチャンスをとらえるのに有効です。

電源を切る直前のストロボモードを記憶します。
ストロボモードを常時固定したいときに便利です。

撮影終了後、突然の巻き戻し音の発生が、好ましくない状況のときに有効です。
☺ ボタン押しで巻き戻しを開始します。

リアルタイムリリース撮影

- このモードにするには、カスタム機能のCF1を1に設定します。



1 ピントをあわせる。



- AFフレームをあわせ、シャッターボタンを軽く押します。
→ 一瞬ズームするような音がしてからピントがあい、緑ランプが点灯します。
- シャッターボタンは軽く押しただまにします。



2 撮影する。



- シャッターチャンスがきたら、さらにシャッターボタンを押し込みます。
→ 瞬時にシャッターがきれます。




- シャッターボタンを一気に押し込んだ場合は、リアルタイムリリースとなりません。
- 写したいものとカメラの距離が変わらないように注意してください。距離が変わったときは、やり直してください。
- レンズにさわらないよう注意してください。ピントがあわなくなることがあります。
- 、 は赤目緩和のため、約1秒間はシャッターがきれないので、おすすめできません。
- フォーカスロック撮影は通常撮影同様、行うことができます。

こんなときは

「故障かな?」と思っても、修理に出す前にもう一度次の表を参考にして確認してください。

症状	原因	解決方法	ページ
電池チェックマーク  が点滅する。	● 電池が消耗している。	● 新しい電池と交換する。	28
電池チェックマーク  が表示されない。	● 電池が入っていない。 ● 電池が逆向きに入っている。 ● 電池が完全に消耗している。	● 電池を入れる。 ● 電池を正しく入れ直す。 ● 新しい電池と交換する。	28 28 28
シャッターがきれない。	● 電源が入っていない。 ● 電池が消耗している。 ● 撮影済のカートリッジがカメラに入っている。 ● 赤目緩和ランプが点灯してから約1秒間はシャッターがきれない。	● 電源を入れる。 ● 新しい電池と交換する。 ● カートリッジを取り出して新しいカートリッジを入れる。 ● シャッターがきれるまで押し続ける。 ● ストロボモードをきり換える。	19 28 17、 26 31 29
シャッターボタンを軽く押すと、ズームするような音がる。	● カスタム機能のCF1が1に設定されている。	● カスタム機能のCF1を0に設定する。	50、 51
ストロボオートに自動設定されない。	● カスタム機能のCF2が1に設定されている。	● カスタム機能のCF2を0に設定する。	50
写真がボケて写っている。	● シャッターをきるときに、AF投・受光部をおおっていた。 ● セルフタイマー撮影などで、カメラの直前に立ってシャッターボタンを押した。 ● シャッターボタンを押すときにカメラが動いた(手ブレ)。 ● AF投・受光部が指紋などで汚れている。	● 髪や指などでAF投・受光部をおおわないように気を付ける。 ● カメラの直前に立たないように気を付ける。 ● シャッターボタンを静かに押す。 ● 汚れをふきとる。	20 37 23 20
フィルムが自動巻き戻しされない。	● カスタム機能のCF3が1に設定されている。	● カスタム機能のCF3を0に設定する。	50

症状	原因	解決方法	ページ
表示パネルに「H」が表示される。	● 自己診断機能で異常を検出した。	● 電池を一度取り出し、「H」表示が消えてから、入れ直す。	28
フィルムカウンターが「0」なのにカートリッジ室ふたが開かない。	● 巻き戻し後のトラブル。	●  ボタンを押す。	26, 46

Q&A

Q1 従来の135 (35mm) フィルムは使えますか？

A1 いいえ、使うことはできません。IX240 カートリッジフィルムをご使用ください。

Q2 リバーサルフィルムは使えますか？

A2 はい、使うことができます。

Q3 フィルム感度 (ISO) とは何ですか？

A3 フィルムが光を感じる度合を数字で表したもので、その数字が大きくなるほど敏感に光を感じます。

Q4 デートを写し込んだのに、インデックスプリントでは写っていないのですが？

A4 このカメラはデートやタイトルをフィルムに磁気で記録しており、現像・プリント時にそのデータを読みとり、印字します。このため、データはインデックスプリントには写し込まれない場合があります。

Q5 このカメラの焦点距離 23 ~ 46mm を 35mm 判カメラに換算するとどのくらいですか？

A5 約 29 ~ 58mm (Hタイプ時) になります。

主な仕様

- 形式……………ズームレンズおよび磁気IX機能内蔵、IX240
レンズシャッター式AF全自動カメラ
- 画面サイズ……………16.7×30.2mm
- レンズ……………キヤノンレンズ23—46mm F4.2—5.6
- 焦点調整……………アクティブ・パッシブ・ハイブリッドオート
フォーカス
- 撮影距離……………0.45m～∞
- シャッター形式……………絞り兼用プログラム式電磁駆動シャッター
- ファインダー……………実像式ズームファインダー
- プリント視野率……………約86%
- ファインダー情報……………ファインダー内：撮影範囲枠、AFフレーム、
近距離撮影範囲マーク
- ファインダー接眼部
 緑ランプ……………撮影準備完了兼近距離警告
 オレンジランプ……………ストロボ充電完了兼手ブレ警告
- フィルム装填……………自動、カートリッジ途中交換可能
- フィルム巻き上げ……………自動
- フィルム巻き戻し……………自動、終了後自動停止、途中巻き戻し可能
- フィルムカウンター……………順算式、フィルムの移動に連動
- セルフタイマー……………電子制御式、シャッターボタンにより作動、
約10秒後リリース、ボディ正面赤目緩和ラン
プ点滅表示、フィルムカウンターに残り秒時カ
ウントダウン
- リモートコントロール機能 (RC-5 使用時)
 ……………赤外光を利用した専用リモコンシステム
 送信ボタンにて作動、2秒後リリース
 作動距離範囲：約5m以内
 電池寿命 約6000回
- 露出制御範囲……………ストロボオート/ストロボONモード：
 広角：1/800 F/18～1/60 F/4.2
 望遠：1/900 F/34～1/90 F/5.6
 ストロボOFF/スローシンクロモード：
 広角：1/800 F/18～2" F/4.2
 望遠：1/900 F/34～2" F/5.6
- 露出補正……………逆光のとき、必要に応じて+1.5段の自動露出
補正

フィルム感度 …… ISO 25 ~ 10000、1/3 段ごとに自動セット
内蔵ストロボ …… 低輝度、逆光時自動発光式内蔵型ストロボ
ストロボ連動範囲 …… ISO100

広角：0.45 ~ 3.0m ; 望遠：0.45 ~ 2.2m
ISO200

広角：0.45 ~ 4.2m ; 望遠：0.45 ~ 3.1m
(カラープリント用フィルム使用時)

ストロボ充電時間 …… 約 6 秒 (新品電池使用時)

ストロボ切り換え …… ストロボモードボタンによる

- ① オート/赤目緩和なし：低輝度、逆光時自動発光
- ② オート/赤目緩和あり：低輝度、逆光時自動発光
- ③ ストロボ ON：常時発光
- ④ ストロボ OFF：発光禁止
- ⑤ スローシンクロ：常時発光 (赤目緩和あり)

デート/タイトル機能

…方式：

液晶表示式 クォーツデジタル時計内蔵

オートカレンダー (西暦 2029 年まで、うる
う年自動修正)

記録データ：

日付/日付+時間、タイトル (6 言語各 5 通り)

文字形状：プリント店機器の仕様による

印字の色：プリント店機器の仕様による

カスタム機能 …… ①リアルタイムリリース設定

②ストロボモード記憶設定

③フィルム自動巻き戻し設定

電源 …… リチウム電池 CR2 タイプ 3V 1 本

撮影可能本数 …… 25 枚撮りフィルム 約 10 本

(常温・ストロボ 50 % 使用時)

大きさ …… 87 (幅) × 57 (高さ) × 24.5 (奥行) mm

質量 …… 170g (電池別)

- ここに記載のデータはすべて当社試験基準によります。
- 都合により製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にてご負担願います。
2. 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために不可欠な部品）は、日本国内において、7年間を目安に保有しています。したがって期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判定につきましてはお買い上げ店または、下記の当社サービス窓口にお問い合わせください。
3. 修理品をご送付の場合は、見本のフィルムを添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。

Canon

キヤノン株式会社

キヤノン販売株式会社 カメラ販売事業部

〒108-8011 東京都港区三田3-12-15 (東急三田ビル8F)

カメラ相談センター (製品取り扱い方法ご相談窓口)

〒108-8011 東京都港区三田3-12-15 (東急三田ビル8F)

☎(03) 3455-9353

サービスセンター (修理サービスご相談窓口)

〒060-8522 札幌市北区北七条西1-1-2 (SE山京ビル1F)

☎(011) 728-0665

〒980-8560 仙台市青葉区国分町3-6-1 (仙台パークビル1F)

☎(022) 217-3210

〒950-0914 新潟市紫竹山1-10-26

☎(025) 246-8765

〒331-0852 大宮市桜木町4-247 (OSビル1F)

☎(048) 649-1450

〒260-0032 千葉市中央区登戸1-26-1 (朝日生命千葉登戸ビル1F)

☎(043) 248-6108

〒104-0061 東京都中央区銀座5-9-9

☎(03) 3573-7834

〒163-0290 東京都新宿区西新宿2-6-1 (住友三角ビル地下1F)

☎(03) 3348-4725

〒220-0004 横浜市西区北幸2-6-26 (HI横浜ビル2F)

☎(045) 312-0211

〒420-0034 静岡市常盤町2-6-8 (トーカイビル3F)

☎(054) 253-9010

〒461-8511 名古屋市東区東桜2-2-1 (高岳パークビル1F)

☎(052) 939-1830

〒920-0853 金沢市本町1-5-2 (リファール1F)

☎(076) 233-6608

〒604-0847 京都市中京区烏丸通二条下ル秋野々町513 (京都第一生命泉屋ビル2F)

☎(075) 255-5953

〒530-8260 大阪市北区梅田3-3-10 (梅田ダイビルB1F)

☎(06) 4795-9100

〒700-0907 岡山市下石井2-2-5 (ニッセイ岡山スクエア13F)

☎(086) 221-8678

〒730-0051 広島市中区大手町3-7-5 (広島パークビル1F)

☎(082) 240-6712

〒760-0027 高松市紺屋町4-10 (鹿島紺屋町ビル1F)

☎(087) 823-4681

〒812-0017 福岡市博多区美野島1-2-1 (キヤノン販売福岡ビル1F)

☎(092) 411-4173

〒900-0032 那覇市松山1-1-19 (安田生命那覇ビル8F)

☎(098) 866-7933

カメラ技術センター (修理サービスご相談窓口)

〒213-0032 川崎市高津区久地487-1

☎(044) 811-1670

〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央2-5-3

☎(06) 6941-1076

営業所

〒870-0045 大分市城崎町1-3-31 (富士火災大分ビル)

☎(097) 537-4117

休業のご案内

新宿 (日曜日、祝日、第3木曜日) その他 (土・日曜日、祝日)

営業時間のご案内

新宿 : 10:00~18:00 梅田 : 10:00~18:00 その他 : 9:00~17:30

CT1-5335-000

© CANON INC. 1999

PRINTED IN MALAYSIA

0800B05